



創設頃の日本民藝館本館

日本民藝館 設立 75 周年記念公開講座

当館の設立 75 周年を記念する公開講座を開催します。内容は記念講演会と座談会で構成されており、現代社会の各分野で活躍する識者たちを講師に招き、柳宗悦という人間の価値や日本民藝館の役割についてご発言いただきます。今年は初代館長・柳宗悦の没後 50 年にもあたっており、この節目の年に、このような講座を催すことの意味は大きいと言えます。なお、本講座は日本民藝協会全国大会との共催事業です。

6 月 11 日(土) 14:15 - 16:45

東京大学生産技術研究所
コンベンションホール

(目黒区駒場 4-6-1・日本民藝館より徒歩約 2 分)

14:20 ~ 15:05 (45 分)

講演 柳宗悦の旅 澤地久枝 (作家)

『妻たちの二・二六事件』や『記録ミッドウェー海戦』などのご著書がある澤地さんは、美術工芸への造詣も深く日本民藝館にも度々お見えになります。着物好きとしても知られ、10 年ほど前には琉球大学で学び、沖縄で暮らした 2 年程の間に各地の染め織りの現場を訪ね歩き、『琉球布紀行』を上梓されました。民藝運動がもたらしたものに対する関心も深く、特に朝鮮半島への柳の暖かい眼差しにも惹かれるそうです。この度は「柳宗悦の旅」と題し、影響を受けた柳宗悦、兼子夫妻への想いを、ご自身の人生と重ねてお話していただきます。

15:10 ~ 16:40 (90 分)

座談会 日本民藝館の役割

松井 健 (東京大学教授)

新見 隆 (武蔵野美術大学教授)

柳 悦州 (沖縄県立芸術大学教授、染織家)

水尾比呂志 (日本民藝協会名誉会長)

柳宗悦をはじめとする民藝運動の仲間たちは、どのような想いで日本民藝館を創設したのか、また将来に向けて何を日本民藝館から発信しようとしたのか。文化人類学、芸術文化政策、工芸、美術史といった分野で活躍する研究者や工芸家を講師に招き、これまでの日本民藝館の歩みを振り返りつつ、これからの展望について議論していただきます。

受付開始・14:00

定員・250 名 (先着順)

参加料・1,000 円 (日本民藝館入館料は別)

受付場所・東京大学生産技術研究所コンベンションホール (東大駒場Ⅱキャンパス構内 総合研究実験棟 2 階)

お問い合わせ先: 日本民藝館

開館時間 午前 10 時 - 午後 5 時 (入館は 4 時半まで)

休館日 月曜 (祝日の場合は開館し、翌日休館)

入館料 一般 1000 円、大高生 500 円、中小生 200 円

所在地 〒153-0041 東京都目黒区駒場 4-3-33

交通 京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩 7 分

電話 03-3467-4527

ホームページ <http://www.mingeikan.or.jp/>

